

音楽がつなぐ3世代のステージ

秀峰中等教育学校オーケストラ部 15日まつもと芸術館で定期演奏会



松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校オーケストラ部（顧問・瀬川伸教諭、62人）は15日午後2時、同市深志3のまつもと市民芸術館主ホールで第4回定期演奏会を開く。創部5年目で初めて5学年がそろい、1期生は同演奏会で卒部を迎える節目のコンサート。部員は練習に励んでいる。

（井出順子）

ベートーベン「交響 協奏曲」第1楽章、「と曲第7番」、メンデルソンの「トトロ」を披露。スズーン「バイオリン ベートーベンは、ほと

んど初心者だった部員が2年前の定期演奏会で初めて挑戦した交響曲。思い入れが深く、今回のメインプログラムに選んだ。

同部は同校が開校した2010年に11人で創部。全員初心者で弦楽器のみで構成した。瀬川教諭(37)の教え子で信州大学大学院理工学系研究科2年の新井光一郎さん(25)が指導に協力し、5年間、練習を重ねてきた。部員も増え、現在は弦楽器と管楽器がそろったオーケストラになった。

今回、新井さんはメ本番に向け練習に励む部員と共演する指導者の新井さん(左)

ンデルスゾーンで出演し、瀬川教諭がタクトで部員を率い、音楽がつないだ3世代のステージが実現する。

創部から部長を務めた滝澤愛さん(17、同市内田)は「うまくないのに時間がかかるのが、全員が一つになる時が音楽の楽しさ。悔いの残らない演奏をしたいし、私たちの精いっぱい聴いてほしい」。

瀬川教諭は「5年間でよくここまでやってきた。成長を見届けた」と話す。

入場無料、予約不要。問い合わせは同校 ☎ 31・8311